

学校教育目標

誰一人取り残さない教育（すべての児童生徒の主体的な学びを保障）
児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動を通して、自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、社会の中で明るく心豊かにたくましく「生きる力」を育成する。

〔目指す学校像〕

- ～関わるすべての人に愛される魅力ある学校～
- 安全安心な環境のもと、子どもを主語にして学びあえる学校
- みんなが子どもの可能性を信じ、支え続ける学校
- 保護者・地域の人に開かれ、みんなでつくる学校
- 子ども・保護者・地域の人・教職員みんなが Well-Being になる学校

〔目指す児童生徒像〕

- ～自分や他者を尊重し、自分らしく輝ける児童生徒～
- 「あかるく」→自分を大切に、元気に、自分らしく自分なりに
- 「なかよく」→相手を大切に、いろいろな人とつながり、ふれあい、ひびきあい
- 「たくましく」→自分から、気づき、挑戦する

〔目指す教師像〕

- ～豊かな人間性を持ち、児童生徒、保護者、地域とのつながりを大切にする教師～
- 子どもに寄り添い、伴走し、子どもが信頼する教師
- 児童生徒の強みを活かし、可能性を信じ、任せ、学びあう教師
- 未来を見据え、探究心を持ち、学び続ける教師
- 学びのアップデートを意識し、対話を重視して協働する教師



令和8年度 茨城県立内原特別支援学校 グランドデザイン

スローガン「愛され、大切にされる Well-Being な学校づくり」



令和8年度 重点目標

安全安心な教育環境の維持と心身共に健康な児童生徒の育成

- 人権意識を高め、チーム担任制を意識し、対話を基本に子どもが信頼して安心して学べる学校づくりを目指す。
- いじめ・不登校・虐待等への予防的取組と組織的対応の充実を図る。
- 様々な災害を想定し、環境面の充実と児童生徒が主体的に取り組む防災教育の推進を図る。
- 保健・食育（摂食指導、食物アレルギー等の対応を含む）やいのちの安全教育を推進。
- ヒヤリハット事例の検証と事故等の未然防止を徹底する。

共につくる学校・地域社会

- 地域資源を活用した（地域の方が活躍、地域に貢献）体験的な学習の充実を図る。（地域が教室）
- 学びあう、つながる地域交流・学校間交流・居住地校交流等の共同学習を推進する。
- 教育・福祉・医療関係機関との連携の強化と協働的な専門性の深化
- 子どもたちの学びの様子や学校の取り組みが伝わる情報発信の工夫。

これからを生きる子どもに合った学びの充実

- 「対話」を基本に「気づき」や「疑問」を大切に子ども一人一人が主体的な学びを実感できる授業を実践し、学びあう。
- 「知識・技能を習得」、「思考・判断・表現等を育成」、「学びに向かう力・人間性を涵養」できる場面を効果的に取り入れた単元計画の工夫
- 専門家と連携し、自立活動と各教科等との関連を意識した授業を展開する。
- 子どもの主体性を引き出すICT機器の有効活用の推進と実態に合わせた情報モラル・セキュリティ教育の充実
- これからを生きる子どもに合ったキャリア教育の充実と「職業・家庭」「職業」の充実

Well-Being の実現

- 学校・家庭・地域における教育活動全体を通じた Well-Being の実現を目指す。
- 当事者意識をもった服務規律の遵守とコンプライアンス意識の醸成を図る。
- 幸せに働ける心理的安全性のある良好な職場環境づくりと、適切なワークライフバランスに向けた働き方改革を推進する。
- 大人も子どもも主体的な行動を促し、認め、挑戦する人を応援する支援。失敗したら「やり直し」ができる環境づくり。